

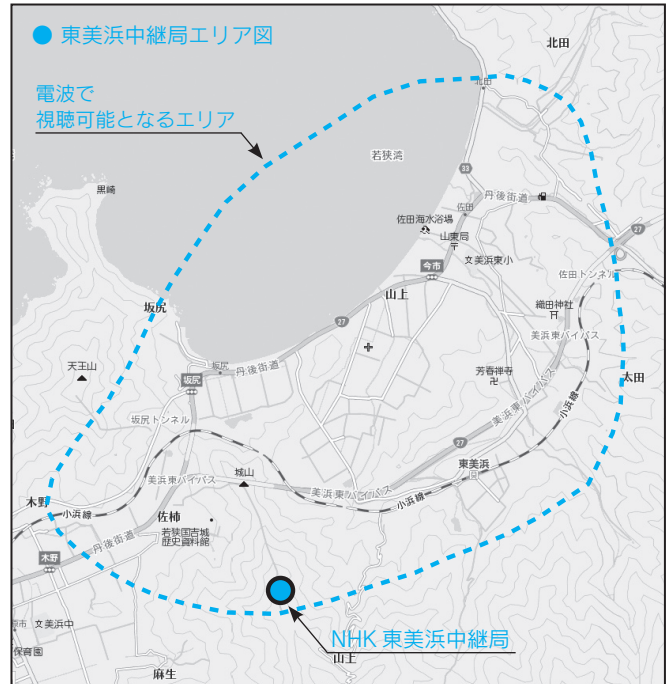
NHKの東美浜中継局 11月1日に開局

■ お問い合わせ先：町企画政策課（担当・上野） ☎ 32-6701

東地区(太田、坂尻、山上、佐田、北田、けやき台)の電波によるテレビ放送をカバーする東美浜中継局のうち、NHK総合テレビとNHK教育テレビの地上デジタル放送が11月1日から正式にスタートします。

これによりNHK2局については、東地区でも従来のアナログ放送とほぼ同じ電波の受信環境になり、ワンセグ放送も視聴可能になります。(ただし、エリア内であっても、地形や建物等によって電波がさざぎられる場合や電波の伝搬状況等により、視聴できないことがあります。)

なお、民放の福井放送と福井テレビの東美浜中継局については、2011年(平成23年)7月24日のアナログテレビ放送終了後、できる限り速やかにデジタル化されることになっています。



福井放送と福井テレビの東美浜中継局の地デジ化の見込み

2011年7月24日

全国一斉に
テレビの
アナログ放送終了

できる限り速やかに
「地デジ」に



福井放送と
福井テレビの
東美浜中継局デジタル化

民放事業者は、電波の出ない空白期間をできるだけ短くすると言っているよ。



! ケーブルテレビ(MMネット)では、全チャンネルが問題なく視聴できます。
※ 詳しくは、広報みはま9月号の10頁をお読みください。

悪質商法や詐欺にご注意ください!!



テレビの調査会社やアンテナ工事業者を装って、地デジ放送を受信するための費用を不正に請求したり、工事の勧誘を行う等、悪質商法による被害が起きています。地デジ放送に関する誤った情報や不十分な情報に基づいて関連商品・サービスを売りつける悪質商法にご注意ください。

地デジ対応で、総務省やテレビ局、そのほかの関係機関がお金を請求することは一切ありません。

被害にあわないための対処法

- 頼んでいない用件や知らない用件、一方的な用件は、はっきり断る!
- どんな要求をされても、自分の判断でお金を払わない!
- 絶対に部屋に上らせない!
- 不審者と思ったら、110番!



食生活から環境を見直そう



食料自給率とは？

食料自給率とは、国内の食料消費が国内の農業生産でどの程度まかなえているかを示す指標のことです。食料自給率には、食料自体の重さを基にした「重量ベース」、食料に含まれるカロリーを基にした「カロリーベース」、食料の値段を基にした「生産額ベース」の3種類があります。

日本の食料自給率は先進国の中で最も低く、世界的に見ても最低水準です。

●平成19年の主な先進国の食料自給率（カロリーベース）

国名	食料自給率
オーストラリア	173%
カナダ	168%
アメリカ	124%
フランス	111%
ドイツ	80%
イタリア	63%
韓国	44%
日本	40%

食品ロス世界一の日本

日本は、食料自給率が低いにも関わらず、「食品ロス」世界一の国でもあります。

「食品ロス」とは、一般家庭や食

品関連事業者から出される食品廃棄物の中で、まだ食べられるのに捨てられているものことです。

日本では、年間約1,900万tの食品廃棄物が排出されており、その内500~900万tが食品ロスであると言われています。

家庭から出た廃棄物の処分には税金が使われます。そしてゴミの量が増えれば、処分にかかる金額は大きくなります。私たちが食べ残しを出すことは、私たち自身の負担を増やすことになるのです。

食料輸入と環境の関わり

食料自給率の低い日本が、食品ロスでは世界一というやや矛盾したこの状況は、海外からの食料輸入が背景にあります。

現在日本は、年間5,000万t以上の食料を海外から輸入しています。今日私たちが享受している豊かな食生活は、海外からの食料輸入によって成り立っているのです。

しかし、私たちが豊かな食生活を送る反面で問題もあります。

食品を輸送する際には、当然、車や船、飛行機等の輸送手段が必要になります。日本はアメリカやブラジ

ルといった遠方の国からも食料を輸入していますが、それにより大量のエネルギーが消費され、それに伴いCO₂も排出されます。

これら食料の輸送にかかるエネルギーとCO₂の量を表す指標として、「フードマイレージ」というものがあります。農林水産省の試算によれば、日本のフードマイレージ総量は世界で群を抜いており、国民一人あたりでもトップクラスです。私たちは自分の気がつかないところで、CO₂排出量増加の一端を担っているのです。

●フードマイレージの計算式

$$\text{輸入相手国別の食料輸入量重量} \times \text{輸出国までの輸送距離}$$

問題改善のために

「食品ロス」はその処理費用が、「食料輸入」はそれにより排出されるCO₂が、地球温暖化の原因として私たちに跳ね返ってきます。

では、これらの問題を改善するためには私たちはどうすればよいのでしょうか。まずは、次のことを心がけてみてください。

- ① 地産地消に取り組み、海外等遠くから運んできたものではなく、美浜町や福井県産の食品を買う。
- ② 計画的な買い物心がけ、無駄な買い物をしないようにする。
- ③ 作ったものは残さず食べ、残飯を出さないようにする。

エコクッキングに挑戦

町では、住民の方々と構成された美浜環境パートナーシップ会議と協力し、ゴミをなるべく出さない「エコクッキング」のレシピ作成にも取り組んでいます。

興味のある方は美浜環境パートナーシップ会議事務局（町住民安全課）までお問い合わせください。



↑素材のほぼ全てを使ったへしこと大根の料理

※お問い合わせ先

町住民安全課(担当・田村)

☎32-6703

美浜発電所の状況



今回の報告では、9月17日から10月18日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

低レベル放射性廃棄物の搬出作業が行われました

10月5日から10日の6日間、美浜発電所構内で低レベル放射性廃棄物の搬出作業が行われました。

この搬出作業は、発電所の定期検査等で発生した放射能レベルの低い廃液や金属類等を収納したドラム缶をコンテナに入れ、輸送専用船「青栄丸」に積み込む作業で、今回で15回目の搬出となります。

今回美浜発電所では、低レベル放射性廃棄物を一時保管している固体廃棄物貯蔵庫から、廃液をアスファルトを用いて均一にドラム缶に収納した均質固化体160本と、金属類やプラスチック等を種類ごとに分別後、切断や溶融等の処理をし、モルタルで固型化した充填固化体1,200本の計1,360本を積み込みました。

青栄丸は、美浜発電所を10月10日午前10時に出港後、津軽海峡を經由し、12日午前7時45分に青森県むつ小川原港に到着。その後、低レベル放射性廃棄物は、埋設場所となる青森県六ヶ所村の低レベル放射性廃棄物埋設センターへ輸送されました。

低レベル放射性廃棄物は

青森県六ヶ所村で埋設処分されます

低レベル放射性廃棄物は、青森

定格熱出力一定運転中

(平成21年12月18日)

美浜1号機

第26回定期検査中

(平成22年8月20日～11月中旬予定)

美浜2号機

美浜3号機

定格熱出力一定運転中

(平成22年4月16日)



↑1つのコンテナにドラム缶8本が収納され運ばれます

県六ヶ所村の低レベル放射性廃棄物埋設センターにある鉄筋コンクリート製の1号・2号廃棄物埋設施設(200リットルドラム缶計40万本収納可)へ埋設されます。

埋設にあたっては、輸送中に破損がなかったかの外観検査等を行い、地中の低レベル廃棄物専用ピットに永久に埋設されるとともに、原子力安全委員会の規定に基づき放射能レベルが安全上問題のない状態となるまでの約300年間管理されます。

なお、当センターを運営する日本原燃(株)では、当該地を最終的に現在の40万本を含む、200リットルドラム缶約300万本を収納できる埋設施設にすることとしています。

低レベル放射性廃棄物の処理方法

